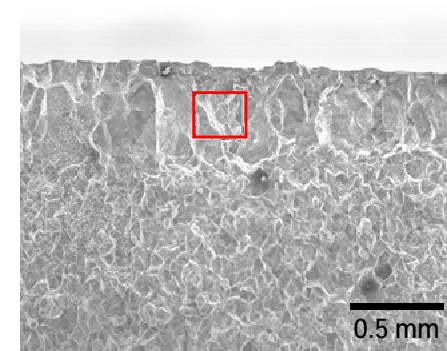
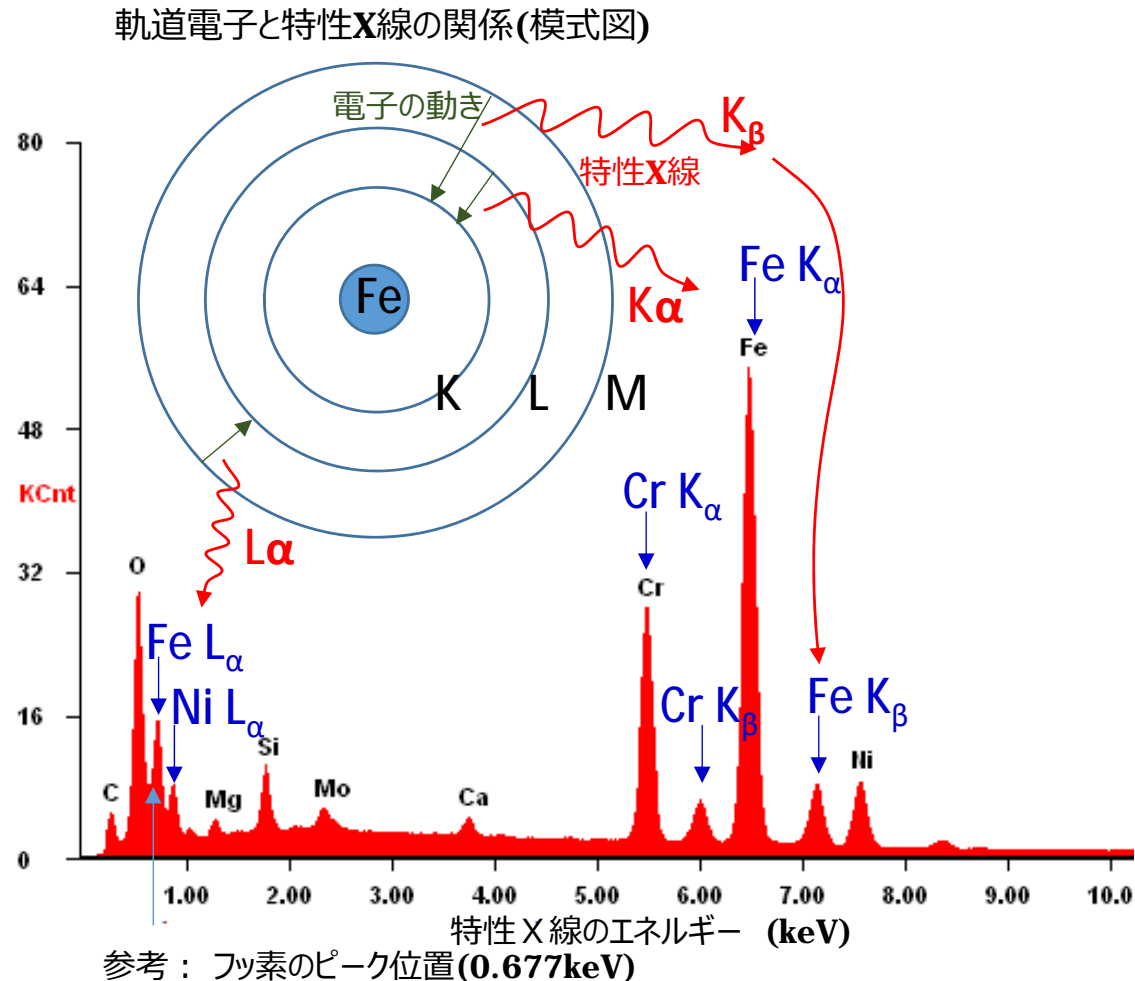


○ 酸素の隣にあるピークについて解説を行う。



破面分析位置

半定量分析結果	
元素	比率[wt%]*
Mg	1
Si	3
Mo	2
Ca	< 1
Cr	19
Fe	61
Ni	13

* : 相対誤差20%程度

組成分析結果

- EDS分析では、一つの元素から複数のピークが検出される。
- Fe(鉄)からは、Fe K_α、Fe K_β、Fe L_α の3種類の特性X線が主に検出され、このうちFe L_αは酸素に近いピーク位置を示す。
- 記載を省略していたピークは、主要元素であるFe, Cr, Niによるものであった。